

「第1次あま市総合計画後期基本計画（素案）」に関する意見募集（パブリックコメント）の結果について

●意見募集の期間 平成28年11月28日から平成28年12月27日まで

●意見を提出された方 6名

●意見数 15件

※表中のページは、パブリックコメント時の素案より、案の方が2ページ多くなっています。

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方（案）	修正内容（案）
1	<p>全般</p> <p>基本目標1から5までのすべての目標を達成することは、不可能だと思うので、今必要な事業を優先的に実施すべきではないか。</p>	<p>総合計画では、基本目標1から5までに掲げるすべての目標を達成するために、各施策を推進しています。その中で必要性、緊急性などを考慮しながら、ご意見のとおり今必要な事業を優先的に実施しています。</p>	—
2	<p>素案 P54（案 P56）</p> <p>防災に関する講習や訓練では、行政として具体的な指示が必要。砂の上に建っているようなこの地区で、震度6や7の地震が発生した場合の、具体的事例を示してほしい。</p> <p>電柱の倒壊による救急車両が通行不能になることを防ぐため、幹線道路、病院、消防署、避難所へ通じる道路を最優先に地中化してほしい。</p>	<p>市では、大規模な災害を想定した総合防災訓練や地域での出前講座などで、災害時の具体的な行動についてお伝えしています。</p> <p>また、地震ハザードマップでは、液状化現象が起きやすい本市の地形の特徴と起こりうる被害を示すとともに、震度6や7を含む震度階級別の揺れの程度と具体的な対応を示しています。</p> <p>今後ともご意見のとおり、より具体的な講習や訓練等の実施、具体的事例の情報提供に努めます。</p> <p>電柱の地中化については、事業費が高く、本市では導入に踏み切れていませんが、道路に電柱を設置する際には、あま市道路管理規則で「道路占用者は、占用物件を常時良好な状態に維持管理し、道路の交通に支障のないように努めなければならない。」としており、その中で避難所へ通じる道路の復旧を優先的に行います。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方（案）	修正内容（案）
3	<p>素案 P64（案 P66） 下水道の整備が長期間見込まれていない下水道区域、市街化調整区域には「国庫補助合併処理浄化槽制度」による合併処理浄化槽の整備を進めてほしい。（2件）</p>	<p>公共下水道の整備が当面見込めない地域においては、汚水処理普及率を高める措置として、合併処理浄化槽に関する補助制度を創設し、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図り、生活環境の改善を図ります。 ご意見を受けて、右記の内容を追加します。</p>	<p>素案 P64（案 P66） 施策の展開方向「河川の水質保全対策をすすめる」欄に「<u>下水道の整備が当面見込めない地域においては、合併処理浄化槽の設置を促進します。</u>」を追加する。</p>
4	<p>素案 P73（案 P75） 喫煙・受動喫煙は、健康破壊の要因となるため、重点施策（対策）をお願いします。 ・非燃焼加熱式タバコに対する対策 ・タバコ煙付着物の発散（第三次タバコ煙）による健康被害への留意 ・子ども・妊産婦を守るため、公共施設での禁煙措置、保護者の禁煙促進。 ・子ども・青少年の喫煙防止 ・若い世代への禁煙サポート ・男女共同参画における女性の健康づくりに関連した禁煙と受動喫煙の危害防止 ・歯周病だけでなく、口内炎、舌がん、食道がんなどの因果関係を強調した啓発と対策。</p>	<p>たばこの健康被害予防に関連する施策につきましては、素案 P73（案 P75）の施策の展開方向「健康づくり支援体制の整備をすすめる」欄の「あま市健康づくり計画“あま活き生きプラン”」、「歯と口腔の健康づくりをすすめる」の「あま市歯と口腔保健計画」でそれぞれ推進しています。 本市では、両計画とも現在第2次の計画策定を進めており、市民の更なる健康づくりを促進する中で、たばこの健康被害予防に向けて妊娠期から高齢期まで、それぞれのライフステージにおいて、個人・家庭、関係機関・地域、行政の様々な取り組みを推進します。特に妊娠期・乳幼児期については、母子の健康に悪影響を及ぼすことから、母子健康手帳交付時やマタニティ教室、家庭訪問、乳幼児健診等の機会を活用して、個別に指導、支援、啓発を行います。</p>	—
5	<p>素案 P92（案 P94） 中央図書館の開館を望む。</p>	<p>現在のところ、中央図書館の整備予定はありませんが、現行の図書館、図書室、読書室が連携・協力し、魅力ある図書館（室）等の運営を行います。</p>	—

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方（案）	修正内容（案）
6	<p>素案P92（案P94） 美和図書館の利用者が減っている原因の調査と利用増加方策の具体的構築を望む。</p>	<p>利用の低下の原因として、インターネット、電子書籍の普及などによる読書ばなれが考えられます。</p> <p>利用増加方策として、読書活動につながる様々な事業を展開し、周知をすることで利用促進を図っています。また、利用者が図書館に何を求めているかを知るため、事業ごとにアンケートを行い、事業内容に反映しています。</p> <p>これらの取り組みにより、現在では利用の回復傾向にあり、今後も利用者が図書資料を手取りやすい環境づくりに努めていきます。</p> <p>ご意見を受けて、右記の内容を追加します。</p>	<p>素案P92（案P94） 施策の展開方向「図書館の充実と利用の促進をはかる」欄の2行目「また、」の後に「<u>利用者の意見を反映しながら読書活動につながる様々な事業を開催するとともに、市民への</u>」を追加する。</p>
7	<p>素案P92（案P94） 読書の楽しさを伝える「人」の育成が必須。</p>	<p>人材育成は重要なことと考えますので、スタッフ、ボランティアの育成とともに、スキルアップのための研修、講座を計画します。</p>	—
8	<p>素案P92（案P94） 関連する個別計画に「あま市子ども読書活動推進計画」が記載されていない。</p>	<p>「あま市子ども読書活動推進計画」は、子どもたちが本に親しみ、読書活動に関わる関係機関等が連携・協力して、将来を担う子どもたちが自主的に読書活動ができる環境を作ることを目的に策定しており、市では、本計画に基づき積極的に読書活動を推進しています。</p>	<p>素案P92（案P94） ●関連する主な個別計画として「<u>あま市子ども読書活動推進計画</u>」を追加する。</p>
9	<p>素案P96-97（案P98-99） 子どもたちの成長にとって読むことは、あらゆることの基本になると思う。学校図書館に司書資格を持ち、子どもの本について専門的に理解している学校司書配置の計画を望む。（2件）</p>	<p>素案P96（案P98）の施策の展開方向「学校・家庭・地域社会との連携による教育をすすめる」欄の「あま市教育立市プラン」に基づく取り組みの中で、現在司書教諭が配置されていない3校に対して平成29年度から学校司書を派遣する予定です。</p>	—
10	<p>素案P96-97（案P98-99） 学校図書館についての記載を望む。</p>	<p>学校図書館につきましては、「あま市子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館（室）の環境整備と計画的利用を行います。</p> <p>ご意見を受けて、右記の内容を追加します。</p>	<p>素案P97（案P99） 施策の展開方向の「教育・学習資材などの確保をすすめる」欄に「<u>また、学校図書館（室）における図書の充実、利用環境の向上を図ります。</u>」を追加する。</p> <p>素案P97（案P99） 関連する主な個別計画に「<u>あま市子ども読書活動推進計画</u>」を追加する。</p>

番号	意見の概要	意見に対する市の考え方（案）	修正内容（案）
11	<p>素案P106（P26-27）（案P108（P28-29）） 平成33年（度）までに、新庁舎整備に伴って、様々な波及効果が生まれてくる。市民ミーティングの議論を経て、市の方向性、将来像を策定すると思うが、新庁舎の利活用によって、魅力あるあま市をどのように実現していくのか。</p>	<p>建設計画を進めている新庁舎につきましては、基本設計の作成段階で市民ミーティングを開催して、市民の意見を反映させることにより、建設計画についての理解と協力をいただきながら新庁舎を拠点とした適切な公共サービスの展開を図ります。</p> <p>後期基本計画では、七宝駅及び新庁舎周辺を防災・活力連携拠点と位置付け、行政機能、防災機能、交流機能を集積させ、街なか居住拠点との連携を強化し、地域活力の更なる発展を図ります。（素案P26-27）（案P28-29） ご意見を受けて、右記の記載を追加します。</p>	<p>素案P26（案P28） ②居住環境維持・向上地 1行目「位置づけ」の後に、「行政機能、防災機能、交流機能を集積させ、市域全体の安全安心と地域活力の創造を支えるとともに、街なか居住拠点との拠点間連携を図ります。」を追加する。</p> <p>素案P106（案P108） 施策の展開方向の「公共施設等の長期的・総合的な管理と見直しをはかる」欄の5行目に、「市中心部の七宝町沖之島深坪地内に統合庁舎方式による新庁舎の整備計画を進めます。計画に市民の意見を反映させ、新庁舎を拠点とした適切な公共サービスの展開を図ります。」を追加する。</p>
12	<p>素案P106（案P108） 公共施設の維持管理経費の財源確保は、今後ますます厳しくなると思うので持続可能な財政運営へ展開していくことが求められるが、老朽化した公共施設、類似施設をどのように統廃合、長寿命化、更新していくのか。重複施設等の統廃合を含めた方向性を、コミュニティバスの運行と新庁舎建設と併せて提案したらどうか。</p>	<p>公共施設の統廃合等の方向性につきましては、素案P106（案P108）の施策の展開方向「公共施設等の長期的・総合的な管理と見直しをはかる」欄の「あま市公共施設等総合管理計画」、「個別施設計画」に基づき、新庁舎を含め、施設を利用するために、現在試行運行中のあま市巡回バスも含めた移動手段を考慮します。</p> <p>また、新庁舎への行政機能集約による重複施設等の統廃合についても検討しながら長期的・総合的な管理による長寿命化と配置の見直しを図ります。</p>	—
13	<p>素案P117（案P119） 女性活躍の推進について議論するため、庁内で女性による専門会議室を設置したらどうか。また、女性の目線でアンケート調査を実施したらどうか。</p>	<p>市では、女性職員を対象とした研修を実施し、女性同士で意見交換、議論する場を設けています。</p> <p>女性の目線でのアンケート調査は、次回の男女共同参画プラン策定の際に、できる限り女性の目線による設問を取り入れるよう努めます。</p>	—